

横浜市立大学附属市民総合医療センターの 医師及び看護師の逮捕について（報告）

本日(11月18日)、横浜市立大学附属市民総合医療センターの医師及び看護師が「麻薬及び向精神薬取締法違反」の容疑で、神奈川県警察に逮捕されたとの報告が、同大学からありましたので御報告いたします。

1 被疑者及び容疑内容

氏名	職名	年齢	性別	容疑
永井 正一郎 (ながい しょういちろう)	医師	37 歳	男	麻薬の所持及び自己施用
吉村 文香 (よしむら ふみか)	看護師	31 歳	女	麻薬の所持

2 逮捕に至る経過

平成 22 年 8 月下旬に当該医師が心身の衰弱などを訴え、横浜市立大学附属市民総合医療センターに緊急入院しました。

入院時に当該医師が、医療用麻薬の施用をほのめかしていたことから、横浜市立大学では、神奈川県警察に状況を相談しました。

捜査は継続して行われてきましたが、本日逮捕に至ったものです。

3 今後の対応

横浜市立大学に対しては、引き続き警察の捜査に協力し、事実関係を確認の上、厳正に対処するよう求めてまいります。

参考 市民総合医療センターの概要

名 称：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
(通称：市大センター病院)

所在地：横浜市南区浦舟町 4 丁目 5 7 番地

診療科：9 疾患別センター、19 専門診療科

病床数：726 床